

お花のどろ

議会だより

4月

2021

vol.164

contents _____

- 新年度予算……………2～4
- 予算特別委員会…5～8
- 一般質問……………9～12
- 各常任委員会……………13～14
- コロナ対策費一覧表…15

ホームページはこちら

南陽市議会

検索



3月定例会

2日～19日

コロナ禍 市税収入3億円減少 新年度予算 過去最高額を可決

承認1件

令和2年度一般会計補正予算の専決処分承認

除排雪経費、コロナ対応「新・生活様式対応支援事業補助金」の補正。

報告1件

放棄した私債権の報告

債権放棄条項に基づき、生活困窮、無資力、破産等により、回収不能となった水道料金の債権を放棄するもの。

同意1件

任期満了に伴う宮内財産区管理委員1名の選任

条例12件

①各種条例の設定 3件

②各種条例の制定 9件

各常任委員会審議 (13 3 14 1 4 議)

令和2年度補正予算5件

一般会計、国民健康保険、財産区、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計の補正

一般会計補正予算では、除雪委託料、ふるさと納税、コロナ対策ワクチン接種事業等の増額のほか、その他次頁に掲げる主な内容を盛り込み、10億732万円を補正した。

特別会計補正予算は、各項目の年度末を控えた各事業の精査による額の確定及び財源の補正。

令和3年度当初予算8件

一般会計、国民健康保険、財産区、育英事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計、水道、下水道の各企業会計の当初予算

一般会計予算の歳入においては、市税はコロナ感

染症の影響、地方交付税は人口減少等により減額となるが、臨時財政対策債の増額で必要額を補填した。ふるさと納税は8億円を見込んだ。

歳出では、ハイジアパーク南陽管理費は減少したが、新温浴施設工事、漆山小学校法面崩落防止工事、やすらぎ荘整備費、つばめ幼稚園の認定こども園施設整備事業等、その他次頁に掲げる主な内容を盛り込み、161億9千万円となり、当初予算では、過去最高となる大型予算となった。

計285件すべてを、同意、承認、可決した。一般質問は7名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

最終日に、同意案1件、補正予算2件、発議2件の追加議案が上程された。

同意1件

委員辞職に伴う教育委員会委員の任命
教育委員会委員 池田めぐみ氏

補正予算2件

国庫補助金の額の確定により、令和2年度、令和3年度の予算を補正し、令和3年度の総額を156億5千万円とした。

発議2件

①南陽市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

②安全・安心で、ゆきとどいた教育実現に繋がる30人学級の実現を求める意見書提出について

計5件すべてを、同意、可決し閉会した。

お知らせ

昨年3月の市議選に
関し、2月4日当選人
1名の失職が決定し、
地方自治法により、次
点者の当選が2月13日
の選挙会において決定
しました。

失職者 小松武美氏
当選者 山口裕昭氏
これを受け3月2日

の議会初日に、議席の
再指定、当選人の所属
常任委員会、会派制に
基づく常任委員長の改
選等を決議しました。

◎改選された委員長
文教厚生常任委員長
殿岡和郎(倫政会)

◎会派

心政会(板垣致江子会
長)は会派要件未達と
なり解散

◎山口裕昭議員所属
・産業建設常任委員会
・議会報編集委員会
・会派には属さない

ハイジアフルーツライン道路改築事業

1,980万円

蒲生田関口線の開通に合わせ、ハイジアフルーツライン通年通行のため、部分的道路拡幅、堆雪場所確保、凍結散布機等の設置等、安全性の高い計画とするため、測量設計調査を委託するもの。



通年通行が待たれるフルーツライン

心を育む教育支援事業

821万円

多様化する児童生徒や家庭への支援を充実するため、教育相談室の継続開設やコーディネーターを配置し、関係機関と連携しながら、子供たちの健やかな成長を支援する。

新生児聴覚検査助成事業

110万円

聴覚障害の早期発見と適切な支援につなげるため、1件につき5,000円を上限に補助する。

結婚新生活支援事業

300万円

結婚して新生活をスタートする新婚世帯の住宅賃借費用、引越費用等を支援する。夫婦共に婚姻日の年齢が39歳以下で、世帯収入400万円未満が対象。

令和3年度

一般会計予算（補正後）

156億5,698万円

やすらぎ荘整備費負担金

4億9,708万円

やすらぎ荘改築整備事業の本市負担金（令和4年4月開設予定）

認定こども園施設整備事業

2億9,840万円

私立つばめ幼稚園が、認定こども園として令和4年4月開園予定のため、施設整備に要する費用を、国の補助交付金制度を活用し助成するもの。



現在のつばめ幼稚園（園舎南側に建設予定）

地域おこし協力隊空き家対策事業

401万円

空き家利用促進のための情報発信、相談業務、再利用のためのリノベーション等に従事。

その他に、獣害対策、6次産業化、農家カフェの協力隊員も増員計画。

獣害防止対策事業

1,313万円

近年、イノシシ等の鳥獣被害が増加しているため、猟友会と連携し、捕獲を含め、その被害防止のための活動を行う地域おこし協力隊を募集し取り組むもの。

その他の主なもの

○緊急経済利子・保証料補給	1億1,872万円
○森林環境・森林経営管理事業	1,552万円
○産業団地整備事業	447万円
○都市公園長寿命化対策支援事業	7,016万円
○漆山小学校法面崩壊防止工事	3,616万円
○特別保育事業費	8,294万円
○小学校校務支援システム導入	455万円

市民生活・地元店応援 プレミアムクーポン事業

5,230万円

市民生活の下支え、コロナ感染で売上激減した地元商店等における消費喚起。

- ① 1枚4,000円（500円×8個）のクーポンを3,000円で販売
- ② 販売は市内の事業者
- ③ 購入した事業所のみで利用可能
- ④ 購入限度は合計10枚（複数店舗で購入可）
※回収する半券を抽選券とし、当選者に景品贈呈
- ⑤ 販売期間及び利用期間は未定のため、改めて広報

市民体育館～西工業団地への 道路改良事業費

1億4,450万円

国道399号（旧13号）と一般県道赤湯宮内線を結ぶ（蒲生田関口線）都市計画道路で、平成29年度より事業に着手しており、令和5年度の開通を目指す。



令和2年度

一般会計補正予算

10億7,432万円

ワクチン接種事業費

1億8,783万円

新型コロナウイルスワクチン接種にあたり、全額国負担で、接種券の発行や必要なシステム改修、接種会場などの準備や運営を行なう。また、医療機関への接種委託料も含む。

除雪費

5,500万円

降雪量が多く、早朝一斉出動回数の増加、道路幅の拡幅、雪押し場の排雪、農道や山間道路の除雪などに対応するため。

消費喚起・買物応援キャンペーン

500万円

市民が、市内で買物やサービスを受けたとき、南陽産品等の景品に応募できるはがきを配布し、停滞している市内経済の消費喚起を図る。

予算



歳入

財政支援

Q コロナ禍で市税が大きく減額し、様々な業種に支援が必要になってくると思うが考えは。

A 国や県の支援を注視しながら考えていく。

財政運営

Q コロナ禍で全国的に大変な状況下、地方交付税や市税は継続的に減少している。今後の財政運営及び、市債について今後の見通しは。

A 市債は福祉を前進させながら前年度まで順

調に減らすことができていた。

コロナ禍の中、市民生活を守るために3年度予算では市債は増額になる。普段「身の丈」を心掛けた財政運営を行っているのはこのような時に備えるためでもある。

国全体が大変困難な状況ではあるが、困っている方にしっかりと支援を行いながら、今後持続可能な財政運営を心掛けていく。

空き家補助金

Q 空き家対策の補助金はなぜ減少したのか。

A 県事業のリニューアルで削減になった。

臨時財政対策債

Q 臨時財政対策債が増えている。これは国の交付金を地方が肩代わりしているもので、常

態化している現在の状況は問題。このままで

は将来負担の増加が懸念されるが、今後の見通しは。

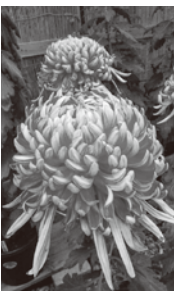
A 国の状況が変わって来るので注視していく。全国市長会などで毎年改善の要望を行っており、臨時財政対策債で地方に負担を強いることなく、地方交付税がしっかりと確保されるように、今後も国に対して強く要望していく。

皆川健次

菊まつり振興基金

Q 運用収入67万5千円を「宮内の賑わいを取り戻す」という本来の趣旨実現に使えないか。

A 菊まつり事業の中で考えていく。



歳出

人件費

Q 財政状況が大変厳しい中、身を切る改革の考えは。

A 一般職の給与削減は考えていない。

市長報酬は就任時より10%削減を継続中で、現段階ではこれ以上の削減は考えていない。今後については財政状況をしながら考えていく。

LED防犯灯

Q 2年度の助成実績、設置率及び来年度の見込みは。

世帯数が少ない地区では設置時の負担が大きいため取り組みにくいとの声がある。

A 約580万円。設置率は73%。来年度中に85%の設置率を見込んで

ている。

世帯数の多い地区では設置がかなり進んでおり、地域間の公平性に配慮しながら検討を進めたい。

空き家対策

地域おこし協力隊

Q 具体的な仕事内容は。また協力隊員を選ぶ際資格要件などは考えているのか。

A リノベーションが出る人、相談出来る人で、移住定住を図っていく。現状では資格が必要とは考えていない。

中国南陽市との関係

Q 現状と中国からの働きかけは。

A 中国南陽市とは5年ごとの卓球大会への選手派遣のほかは年賀の挨拶程度。新潟の領事館を通しマスクの提供を受けた。



RPA構築委託料

Q RPAで業務の自動化が進めば相当な事務効率化が図られると思われるが、個人情報の問題などセキュリティに不安な要素もある。現在考えている対象業務と、ローカル5Gの取り組みは。

A RPAは今後の業務効率化のために積極的に進めていきたい。現在は試供版ソフトを使って活用方法を検討中で、新年度早々に具体的な内容を決めていく。

5Gは、県の研修会に参加し、どのような事が出来るか検討している段階だ。

ローカル5Gについても実践に結びつくようスキルアップしていく。

※1 RPA

ロボティック・プロセス・オートメーションはソフトウェアロボット、または仮想的労働者と呼ばれる概念に基づく事業プロセス自動化技術の一種。

ホストタウン

Q県内にはコロナ禍で事前キャンプなどを中止した自治体もあるが、今後の見通しは。

A中止事例は相手国からの申し出によるもの。現在バルバドスとの協議を続けており、国のガイドラインに沿って対応する。

高校再編問題

Q東置賜地域内で高校再編が計画されている

が、南陽高校の今後について市としてどのように関わっていくのか。

A市内の多くの生徒が入学を希望するように、南陽高校の魅力を大いに発信して側面から支援していく。南陽高校の存続に向けて、県教育委員会に要望を続ける。



生活保護費

Q前年と比較して増加しているが、増加理由は。また、日本の^{※2}捕提率は欧米と比較して低いようだが、市の現

状は。

A保護世帯の3割が傷病・障がい者、5割が高齢者であるため、高度医療費が増加した。捕提率の実態は把握が困難だが、保護に至る前の制度を周知することが重要と認識している。

※2 捕提率

生活保護基準を下回る経済状況にある世帯が、実際に生活保護を受給している割合。

日本赤十字社の会費

Q地区毎に納入している日本赤十字社の協会員費は、全国基準目安500円に対し、山形県の700円は理解できないという声が地区長会にある。

A日本赤十字社山形県支部で決めているので、意見を伝える。

生ゴミの処理

Qゼロカーボンへの取り組みの一環として、生ゴミのたい肥化や、下水道へ直接生ゴミ破砕投棄を推進してはどうか。

A生ゴミをたい肥化して使用した野菜などの流通は安全に関する基準が厳しい。また、デイスポーターでの破砕投棄も下水道への負荷が大きいため、今の基準ではアメリカのような形にすることは困難だ。

ハイジアパーク

Q事業継承者への従業員の継続雇用は。また従業員への説明は。

Aハイジアパークは今年度末に臨時株主総会が開かれその後解散の予定で進んでおり、社員へは、解雇という形で通告済みと聞いている。雇用確保の要望も継続しているが、現在はまだ事業計画の段階であり、今後については流動的で、市では社員への支援を継続していく。

《関連》

Qハイジアパーク譲渡に関して、優先交渉権者(株)KEN OKUYAMA (DESIGN)の決断が遅れているのはなぜか。今後は奥山氏のブランド力を活かした事業に対し、南陽市として官民挙げての

応援が必要と考える。A実現可能な事業内容の検討が進められており、3月末に説明を受ける予定。

創業者支援

Q中小企業等事業再構築促進事業は、今回は1兆円の予算なので採択率は非常に高いと推定される。

また、本県で後継者がいない企業の割合が6割を超える。後継者難を理由に廃業を選択する企業も増えており、事業承継前に倒産のケースもある。後継者の育成とともに、市場変化に合わせ新たな事業の展開なども支援していく必要があるが市内事業者への周知は。A商工会で説明会を実施しており、今後関係機関と連携を進める。

菊まつり

Q コロナ禍で今年の開催も心配な状況で、菊づくりを行っている方々の疲弊も大きい。菊まつりを持続可能なものにしていくには、菊づくりを行なう協力隊員の募集が必要だ。

A 活動終了後の自活に向けた道筋が見えないため、研究を行なう。



安全ステッカー

Q コロナ対策の周知が大切だ。市内飲食店に安全ステッカーを配布できないか。

A 以前検討したが、責

任の所在の問題で断念した。現在は、団体毎に掲示されているが統一のものが必要か検討する。

ビジネスホテル

Q 具体的な話はあるか。また、赤湯温泉街への誘致も考えられるのか。

A 2年度数社と協議した経緯はある。温泉旅館組合の意見を聞きながら、誘致実現に向けて進めていく。

地震による大洞地区孤立

Q 地震で大洞踏切が長時間閉鎖し地区が孤立した。災害時の緊急車両の通行を考え、市道新田・びつき石線の通年通行なども含め対応できないか。

A 現在冬季通行止め区間の早期開通に向け除雪作業を進めている。

今後市道2路線の維持管理強化を進め対応する。

緊急車両は安全確認後に遮断機を開けて通行するように調整した。



ブロック塀の撤去

Q 平成30年度から行われている撤去事業の進捗状況は。また、学校との連携状況は。

A 平成30年度10件、元年度4件終了しており、2年度は申し込みがなかったため、緊急性が高い箇所は終了したとの認識だ。撤去終了後は学校教育課へ報告している。

上無川の維持工事

Q 維持工事の内容と進捗はどのようになっているのか。また、下田橋周辺は最近危険な状況のため、今後要望も続けてほしい。

A 愛路橋上下流200mで支障木撤去と河床掘削を行ない、工事は終了している。



避難勧告

Q レベル4の勧告が行われても避難する人が少ない。以前の指示内容は具体的ではなかったか。

たが、国の避難基準改定後は明確化した。しっかりと啓発すべき。

A レベル4での全員避難は場所移動だけでなく、難を逃れる行動が大事になるため、市報などを通じ出水期前に呼びかけていく。

消防団員の報酬

Q 個人支給に変更し、増額できないか。

A 団員の委任状を基に、定数に応じ分団に支給している。増額は装備の充実も含め総合的に検討する。



協会の受章
消防団が日本消防協会
特別表彰「まとい」を受章

給食費の無償化

Q 給食は大事な教育の一環であり、県内で全額無償化を実施している自治体もある。もっと適用範囲を広げられないか。

A 全額無償化には相当の財源が必要だ。適用範囲を広げるには、継続可能な範囲を熟慮する必要がある。慎重に検討を進める。

部活動指導員

Q 市内小中学校はコロナ禍で学校生活が制限され苦労して活動している。指導員配置事業費が減額された理由は。また、新年度は大会準備等で顧問の負担も増えるので、指導員を増員すべき。

A コロナ禍で、遠征費等の分が減額となった。活動時間等の問題な

どもあり、なり手が少なく人員確保が難しいが考慮する。

《関連》

Q 持続可能な運営にするため外部コーチへの報酬も検討すべき。

A 現在は、ほとんどがボランティアで活動していたため、報酬などの規定はないが、検討していきたい。



学校運営協議会

Q 評議員制度から変更の内容は。

A 学校長は人事異動もあるため、地区団体代

表者などで構成される学校運営協議会を設立し、継続的な学校経営を推進するもので、国・県の推奨もあり各自治体で設立が進んでいる。

各校において、現評議員には2月末までに説明を行った。

《関連》

Q 大きな変革期に必要な、特色ある学校経営に逆行しないか。

A 懸念されるようなことはないと認識している。

沖小屋根の暴風被害

Q 近隣被害がほぼない状況で避難場所の小学校が被災するのは問題だ。点検はしているのか。

A 目視点検をしている。屋根については目視では難しいので、今後、点検方法を工夫していきたい。

また、今回の点検で

老朽化による危険な箇所が何点か確認されたので対処していく。



被害のあった沖郷小学校の屋根

公債費の償還

Q 今年度の線上償還は。また、今後の見通しは。

A 繰上償還は最近行なっていない。今後も負担とならないように注視していく。

特別会計

上下水道料金の減免

Q コロナ禍で支払い困難者への減免はあるか。

A 今のところ減免につ

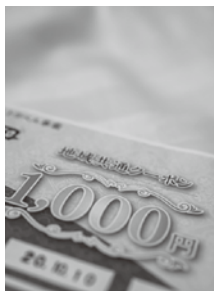
いての相談はないが、必要に応じた措置を行なう。

2年度補正予算

プレミアムクーポン

Q 大型店にのみ流れやすい従来の商品券が、確実に地元店に還元された意義は大きい。ビッグプレゼントキャンペーンも地元店重視の姿勢が評価される。今後改善の余地は。

A はじめは「わかりにくい」との声もあったが、最終的には喜んでいただいた。今後実行委員会での意見を踏まえ、期間短縮や提出書類の簡略化等について検討する。



新温浴施設確定予算

主要事業の新温浴施設は、令和2年度の国の交付金確定（3月定例会期中）により、実質負担金が確定し、令和4年6月の開業に向けて大きく動き出しました。

新温浴施設の財源

総額：6億7,100万円

地方創生拠点整備交付金 2億9,000万円	地方債交付税措置 1億4,500万円	実質負担金 2億3,600万円
--------------------------	-----------------------	--------------------

鋭く迫る！一般質問

一般質問とは

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。
一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。
3月定例会では、3月8日と9日に7人の議員が質問を行いました。
※質問の内容を要約して掲載しています。
※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。
会議録は、6月に公開予定です。



- 1 佐藤 憲一 (政風会) 防災対策の強化策 / ゼロカーボンシティ宣言対応
- 2 山口 正雄 (政風会) スマートインターチェンジと産業団地
- 3 島津善衛門 (保友クラブ) 人口減少対策と少子化対策 / 新学習指導要綱とICT活用
- 4 片平 志朗 (政風会) 生活困窮者自立支援制度の拡充 / SDGsの取り組み
- 5 佐藤 明 (会派に属さない) 介護保険「第8期」の課題と制度改革
- 6 高岡 亮一 (会派に属さない) コロナワクチンの接種 / 施政方針
- 7 高橋 一郎 (会派に属さない) 山形県との連携強化 / 発達障がい児の対応 / 国・県への要望

佐藤 憲一 議員



防災対策の強化策を

◎東日本大震災から10年、行政は地域住民の安全確保に努めなければならぬが「行政が地域住民にお願いしたいこと（求めたいこと）」があれば、それは何か。

〈市長〉153地区のうち、151地区で「自主防災会」が組織され、世帯数を基準とする組織率は98・3%となっている。

〈市長〉日ごろから、ハザードマップ等を活用して、災害時の危険箇所の把握や避難所・避難ルートの確認、非常時の持出品や備蓄品の準備など、災害に対する心構えや備えをしっかりとっていただきたい。

地区役員が自主防災会の役員を兼ね、役員を1、2年で交代してしまうため課題もあるが、防災士などの人材を活用・育成するとともに、民生委員の方々と連携を深めることにより、活動の活性化が期待される。

◎**個々人の防災意識の向上対策は。**

◎市内の自主防災組織の現状と、活動するうえで課題等があると考えればそれは何か、その課題の解決策は。

〈市長〉住民の皆さんに様々な情報を提供するとともに、講演会や研修会等を定期的に開催していく。



◎「南陽市ゼロカーボンシティ宣言」を契機に、環境基本計画（方針）を策定する考えは。

〈市長〉県内では23市町村が「環境基本条例」を制定し、その基本理念に基づく「環境基本計画」に準じた「地域環境計画」を策定しており、本市においても今後策定に向け準備を進めていく。

山口 正雄 議員



スマートICの費用対効果は

◎スマートICは本市にどのような効果をもたらすか。

〈市長〉①立地企業の物流効率化など地域産業の活性化②山形・仙台方面からの誘客促進と観光の活性化、交流人口の拡大③村山医療圏への到達性向上④災害時の救援物資の輸送や災害復旧支援活動の迅速化が期待される。

◎スマートIC実現への課題は。

〈建設課長〉必ず達成しなければならぬという

うことでもないが、一日の目安としては400台程度だ。

◎国道13号へのアクセス

〈市長〉未決定だが、JR大洞踏切を交差した場合、総額約23億円で、市負担額は約8億円と試算している。

◎人口減少の中で、将来的に厳しい財政状況が想定される。費用対効果はどうか。

◎スマートICと関連する上野新田線の通年

通行で道路拡幅や急勾配の緩和は。

〈市長〉側溝に蓋をし、車道幅約1m前後の拡幅、避難場所の確保、凍結防止剤散布装置の設置など除雪体制の強化を含め、高い安全性を検討していく。



スマートIC候補となるパーキングエリア付近

島津 善衛門 議員



給食費の完全無償化を

◎人口減少によって、生活関連サービスの立地に必要な人口規模を

〈市長〉魅力ある雇用の場の確保及び拡充により、若者の地方への回帰と定着を促していくこと、産業界とも連携しながら結婚から出産、子育てまでの切れ目のない支援を行うことが少子化対策となり、地方創生の実現につながる。給食費完全無償化の早期対応を。

◎この十数年、未婚率は上昇し、また第1子

を産む年齢も上昇している。今までの少子化対策は、未婚率を下げ

〈市長〉「結婚新生活支援事業」を新年度当初予算に盛り込むなど、子育て世代の経済的支援を行い、より多くの子どもを産み育てる動機付けとなる効果的な支援施策の充実を図る。

助成事業を実施してい

る。新たにすべての児童・生徒について給食費を無償化する場合は、多額の支出が必要。今後、財政収支のバランスをとりながら、子育て支援施策全体の中で検討する。

◎ICT活用における学校教育の取り組みは。

〈教育長〉4月より稼動し、教材、指導、文具、情報交換の4項目での利活用をバランスよく高める。





生活困窮者自立支援制度の 拡充を求める

◎生活困窮者自立支援制度の概要は。

〈市長〉仕事や生活に困りごとや不安を抱えている方々からの相談を受け、家賃の支援や就労支援を行い、自立の促進を図るもの。

◎生活困窮者の定義は。

〈市長〉「就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義されている。

◎制度の周知は。

〈市長〉市報や社会福祉協議会の機関紙等に掲載。また、各地区の民生委員を通して周知を図っている。

◎本市の制度利用の現状は。

〈市長〉2月末現在で延べ相談件数は千件を超えており、昨年同期と比較すると2倍程増えている。相談支援は社会福祉協議会の職員2名が対応している。

◎自立相談支援員の拡充は。

〈市長〉現時点では2名体制の継続を予定。

◎今後の課題は。

〈市長〉今年度は約130件の生活福祉資金等の貸付決定が行われたが、それで終わりではなく、その後、自立につながっているかフォローアップが重要。自立に向け、安定した生活ができるよう、関係

機関と連携を図っていく。

◎コロナ禍や格差社会の中で、ますます生活困窮者が増加することが予想される。結果、この制度に頼らざるを得ない方々が生まれてくる。誰一人取り残さない社会実現に向けて、相談体制の拡充や、制度の課題解決に取り組んでいただきたい。



介護職員の処遇改善を

◎介護保険は3力年の事業計画によって運営

され、2021年度4月から、事業計画の第8期に入る。介護保険法施行から20年以上が経ち、ますます公的介護制度が重要になって

いる。スタートから21年、どのように総括し、第8期事業計画に活かされるのか、次の項目について考えをお聞き

する。介護職員の緊急的な処遇改善を行うとともに、それを利用料・保険料の負担増に跳ね返らせないため、

公費を投入する考えは。〈市長〉介護職員の人材確保や処遇改善のためには、介護報酬の引き上げは必要なことであ

り、サービスの質の向上にもつながるものと考えている。現行制度

においては、介護報酬を引き上げること、利用者や被保険者の負担が増加し、更には、市の負担も増加する仕

組みとなっている。市民の負担を可能な限り抑制できるよう、介護保険事業の適正な運営

を図るとともに、制度の見直しについて、機会を捉えて国に働きかけていきたい。

◎第8期の介護保険料の基準額は。

〈市長〉第8期計画の策定にあたり、これまでの給付実績や今後の人口予測等からサービス量を推計して算出され

た介護保険料の基準額について、介護保険運営協議会の意見も聴取

しながら検討してきた。その結果、前期の基準額を据え置き、月額6400円と設定した。

◎市内の待機者は。

〈市長〉昨年6月現在の調査では、入所申し込みをされている方は110人、うち在宅の方は30人程度となっている。



高岡 亮一 議員



ワクチン接種は慎重に

◎インフルエンザ程度
の新型コロナウイルスのために、
なゼリスクを承知でワ
クチン接種をしなければ
ならないのか。マス
コミ報道に惑わされる
ことなく、市民の真の
健康と安全を考えて、
慎重かつ柔軟な対応が
求められると思うが。

と考えられるが、「経
済的・精神的セーフ
ティネット」は。

＜市長＞経済的には、社
会福祉協議会による緊
急小口資金・総合支援
資金の貸付、生活自立
支援センターの生活困
窮者自立相談支援、県
求職者総合支援セン
ターやハローワークの
就労相談等。最後の
セーフティネットとし
ては生活保護制度。

＜市長＞「正しく理解し、
正しく恐れる」ことが
重要。ワクチン接種は
強制ではないので、市
民が正しく判断できる
よう、迅速的確な情報
発信に努める。

◎自殺者に見るコロナ
禍の市内への影響は。

＜市長＞コロナ前の5年
間の平均が6・4人。
昨年1人。

◎これからが大変にな

精神的セーフティ
ネットは、県精神保健
福祉センター、置賜保
健所、NPO法人等の
相談窓口のほか、SN
S利用の相談も。
市としては、包括支
援センター、福祉事務
所を中心に、社会福祉

協議会など関係機関と
連携した相談支援で対応。
◎二百年前の置賜には、
鷹山公の治世を学ぶた
めに全国から多くの人
が訪れた。誇るべき歴
史を土台に、置賜が一
つになって米沢藩の再
現を目指せないか。

＜市長＞鷹山公の藩政改
革は、社会的分断を超
えた共生社会の構築に
通ずる。地域の歴史文
化を大切にしながら、
3市5町が連携し、
「つながる置賜ともに
明るく未来へ」を具現
化していく。

なせばなるななればならぬ何事も
ならぬは人のなさぬなりけり



高橋 一郎 議員



県が要望自体を却下？

◎平成25、26年7月及
び令和2年豪雨災害の
国・県の予算総額は。

その予算獲得に向けて
の要望活動とその予算
額への評価は。

＜市長＞吉野川が約15
2億円7千万円、織機
川は約8億8千万円。
令和2年豪雨は被害額
で両河川合わせて約4
億3千万円と聞してい
る。国には、発災後に
上京して要望し、県に
は市の重要事業要望と
して継続して取り組ん
でいる。早期の復旧・
復興に向け、大変ご尽
力をいただいている。

◎一般県道赤湯停車場
線の今までの予算総額
と獲得に向けた要望状
況とその予算への評価

＜市長＞予算総額は赤湯
工区55億8千万円、二
色根工区27億7千万円
で、現在まで83億5千
万円。要望活動は二色
根工区及び三間通工区
の整備促進、JR赤湯
駅までの区間の早期着
工を市の重要事業要望
とし継続して取り組ん
でいる。国からの予算
や災害の関係から、事
業認可された期間内
の完成はしていないが、
着実に事業を進めてい
ただいていると捉えて
いる。

◎県への各種要望で、
「この要望は外してく
ださい」と職員から聞
いてびっくりしたと市
長は集会の場で発言し
ているが具体的には何

の要望だったのか。
＜市長＞この場で、具
体的なことは申し上げら
れない。
◎市政を運営する際に
一党一派に囚われない
のが大事だと思うが、
市長の政治姿勢につい
て見解を伺いたい。
＜市長＞さまざまな市民
の声を市政に反映させ
ていく立場で市政を運
営してまいりたい。



整備が進む吉野川

審査報告

付託議案4件

◆ハイジアパーク南陽の廃止に伴う関係条例の設定

3月末日で営業を終了するため、廃止に伴う条例の制定と関係条例の整理を行うもの。

◆南陽市二色根温泉条例の設定

これまで赤湯財産区が所有権を有し、市がハイジアパーク南陽に供給するため使用権を持っていた「南陽市赤湯財産区特別源泉」の所有権を市に譲渡し、新たに「南陽市二色根温泉」として管理するための条例を設定するもの。

◆1年以上、5年以下の長期継続契約を締結する場合の条例の一部改正

これまで「無体物

として契約の対象としていない、ソフトウェア使用許諾権（ライセンス）を近年の情報処理取り扱いの多様化に合わせて、本契約条例の対象とするもの。

◆赤湯財産区温泉条例の一部改正

内湯旅館営業者より、正当な相続人としての法人代表者及び受給者とする届出申請を受理し、受給者の名義変更を行うもの。

委員より、二色根温泉の今後の管理等詳細について質疑がなされた。審査の結果、全員異議なく可決した。
(委員長 島津善衛門)



審査報告

付託議案3件

◆法定外公共物の管理に関する条例の一部改正

国の3年ごとの道路法等の関係法令の改正により、南陽市道路占用料徴収条例の占用料の額が改定となることから、使用料等についても改定するもの。

※法定外公共物とは、道路法、河川法、下水道法等の法令の適用または準用がなく、かつ登記上私権が設定されていない公共物で具体的には、里道、普通河川、水路、ため池等がこれに当たります。

◆道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の一部改正に伴い、「同令に準じて定めている占用料金を改める」「道路

占用許可対象物件の追加」などの必要な改正をおこなうもの。

◆都市公園条例の一部改正

南陽市都市公園条例の占用料は、その取扱いについて、南陽市道路占用料徴収条例を参照し定めている。今般、道路占用料徴収条例の一部改正に伴い、所要の改正をおこなうもの。

審査の結果、全員異議なく可決した。
(委員長 片平志朗)



ハイジア源泉 市へ所有権移転

公共物の使用料・ 占用料の改定

文教厚生 常任委員会

障がいのある人もない人も 共に生きるまちづくり

審査報告

付託議案5件

請願1件

◆障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の設定

障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現に寄与するため、障がいを理由とする差別の解消の推進に関し、必要な施策を策定するもの。

◆国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の際の傷病手当支給のため。

◆介護保険条例の一部改正

第8期南陽市介護保険事業計画と税制改正による介護保険料等不利益防止のため。

◆指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営

に関する基準等の一部改正

3年に一度の介護報酬改定に伴う指定居宅介護支援等事業の人員及び運営に関する基準の改正。

◆指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正

利用者の人権擁護、虐待防止、感染症対応等の基準改正に伴う改正。

◆安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級の実現を求める意見書提出についての請願

審査の結果、全員異議なく可決・採択した。
(委員長 殿岡和郎)

意見書提出

「少人数学級をすすめる県民の会」から提出された上記請願は、付託委員会で採択され、本会議で左記の意見書提出を可決しました。
この意見書を、衆・参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣宛に提出しました。



Q 請願とは

住民の声を国や市政に反映させる、憲法で保障された住民の権利です。提出されると、議会で審議されます。一人以上の紹介議員が必要です。

Q 陳情とは

請願同様住民の権利です。紹介議員は要件ではありません。

安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる 30人学級の実現を求める意見書（要旨）

コロナ禍の中、子どもたちも学校も多くの不安と心配を抱えています。こうした中、一人一人の子どもとじっくり向き合える少人数学級実現の要望が強く出されております。30人学級の早期実現、さらに20人程度の学級への移行は国民の切実な願いです。

一方、国においても、経済財政運営と改革の基本方針において、全ての子どもたちの学びを保障、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備について検討することが盛込まれ、中央教育審議会は、コロナ感染拡大を踏まえ、少人数学級編成を可能にするなど、指導体制や必要な施設・設備の計画的な整備を図ることを盛り込んだ答申を行いました。しかしながら、2021年度の政府予算案は、小・中学校ともに不十分な内容です。

つきましては、文教関係予算を増額し、子ども一人一人を大切にする教育の推進、そして新しい生活様式に対応すべく、義務教育の全学年で30人以下の少人数学級編制を実現するよう強く求めます。

みんなで乗りこえよう

新型コロナウイルス関連補正予算推移一覧表

決定日・項目	歳出	歳入(単位:万円)		
		国・県	地方債・その他	一般会計
12月定例会までの累計	43億9,085万円	416,340	4,660	18,085
R3年2月8日 専決処分				
山形県 新・生活様式対応支援事業補助金	3,000万円	3,000		
R3年3月2日 定例会 補正予算				
(1)フラワー長井線路線維持対策	193万円	193		
(2)ワクチン接種体制確保事業	6,943万円	6,943		
(3)ワクチン接種対策事業	1億1,840万円	1,1840		
(4)園芸大国やまがた産地育成支援	64万円	2		62
(5)勤労者総合福祉センター指定管理料補助	159万円			159
(6)南陽スカイパークエリア指定管理料補助	22万円			22
(7)小学校通信運搬費	56万円			56
(8)中学校通信運搬費	20万円			20
(9)買物応援キャンペーン事業	500万円			500
R3年3月19日 定例会 追加補正予算				
ワクチン接種記録システム連携の健康管理システム改修委託	100万円	100		
3月補正金額計	2億2,897万円			
新型コロナウイルス関連事業総額	46億1,982万円	438,418	4,660	18,904

今号で令和2年度のコロナ関連対策事業費の報告は終了します。

総額で、市民1人当たり15万円超の予算となりました。

現在も、歯止めがかかりません。「3密」の回避や手洗い、マスクなど対策の基本を徹底するとともに、感染しても症状が出ないことがあること、高齢者や持病のある人は重症化しやすいといった、このウイルスの性質を、もう一度確認して、一人一人が感染リスクの少ない行動をとることが求められています。今後も、ご理解とご協力をお願いいたします。



〔お詫びと訂正〕

1月議会だより (No.163) において、誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

■P4 5段末から6段初に1行の欠落がありました。

欠落文部分修正：「住民票や印鑑登録のオンライン申請」

■P12 文教厚生常任委員会 管内視察日、11月20日は、10月20日です。

みんなの思い 街のでんきやさん

議会報編集委員が
インタビューしました。



赤湯 (桜木町)
山口 英樹さん(56歳)

赤湯でデンキ店を営む山口英樹さんに思いを語って頂きました。

■デンキ店を始めて何年

父が創業してから昨年で五十周年を迎えました。私が仕事に就いてからは、三十七年になります。

■南陽市で四人の子育てをして

娘が四人おります。子育てや教育に関わる苦労はありましたが、今となっては懐かしい

良い思い出です。上の二人は結婚をしてかわいい孫をよく連れてきてくれます。

■今のコロナ禍で仕事への影響は

昨年は原材料や部品が海外から入ってこない、品薄・品不足になり売り上げが激減しました。また、イベントが出来ず、五十周年の創業祭も開催出来ない状態でした。

■市のコロナ支援について

南陽市緊急経済対策事業を第十弾まで迅速に対応して頂き大変助かりました。ありがたいことです。

■ロータリークラブに入っておられますが

今年度、南陽臨雲



ロータリークラブの會長としております。今年度二十周年の節目にあたり、記念式典、祝賀会の開催を予定しておりましたが、苦渋の中止を決断しました。何とか記念事業である赤湯花見橋ポケットパーク(仮称)整備事業を遂行したいと考えております。

■これからの南陽市について

少し雪が多いくらいで、災害も少なく食べる物もおいしくて、住んでいる人もいい。こんな良い所はないと思います。このコロナ禍を何とか乗り越えて、明るく住みよい南陽市にしていきたいものです。

表紙写真 多勢丸中邸



池黒の多勢丸中邸は、平成28年に国登録有形文化財に指定されました。製糸業全盛の大正末年、当時の最高技術と選りすぐった材料による建築です。5年の歳月と現在換算20億円を要したと言われます。表紙写真は外国からのバイヤー接待のための二階洋間です。一階の和室も見事です。当時のまま現存するのは、多勢賢二郎家の先人への並々ならぬ思いの結果です。

編集後記



四月は様々な花が咲き乱れ、花を楽しむ絶好の季節になりました。新年度も始まり、新しいスタートをした方も多いと思います。まだまだコロナ禍で大変ではございますが、前向きに進んで行きたいものです。議会報編集委員会に所属して一年になり、編集を通じて様々な気づきがありました。多くの皆様から読んで頂けるように努力して参ります。皆様にとってより良い新年度のスタートとなりますようご祈念申し上げます。

(伊藤 英司)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 正雄
- 委員 伊藤 英司
- 委員 佐藤 憲一
- 委員 山口 裕昭
- 委員 高岡 亮一